



いよいよ明日から12月、師走です。今年もあと1か月を残すのみとなりました。12月は園では発表会をはじめ、もちつき会などの大きな行事が予定されています。また、22日からは冬休みに入り、子どもたちにとって楽しみなクリスマスもやってきます。うきうきしがちですが、心を落ち着けて、毎日を元気で安全に過ごしてほしいと思います。私たち大人も同様に気を引き締めて、元気で新年を迎えたいですね。

## ○ 年中組の子どもたちがJR宮崎駅に行ってきました。

23日(金)が勤労感謝の日であることから、働いている人の様子を知る目的で22日(木)の午前中、年中組の子どもたちが園外保育でJR宮崎駅まで歩いて行きました。当日は朝まで雨が降っていて、行けるかどうか心配しましたが、出発する頃には晴れ間も見えてきて、予定どおり行くことができました。



駅では駅員の方やお店で働いている方の様子を見学しました。また、プラットホームにも上がらせてもらって、電車も見ることができました。ただ、雨の影響で中央公園でのお弁当はできなかったので、園に戻ってきてから食べました。子どもたちはきちんと2列に並んで歩いて行くことができました。

ホームページの園長日記にも掲載しましたが、29日(木)にすみれ組の写真を追加しましたので、併せてご覧ください。

## ○ 来週は発表会です。

いよいよ来週の土曜日は発表会です。子どもたちは、園舎2階ホールや会場となる大坪記念ホールで練習を続けています。担任は、子どもたちが力を十分に発揮できるようにと、やって見せたり、言って聞かせたりしながら本番に向けて指導に取り組んでいます。子どもたちも、真剣な表情で練習をがんばっています。当日は、全員が元気で参加し、練習の成果を存分に発揮してほしいと願っています。

プログラムは来週配付予定です。当日をお楽しみに。

## ○ インフルエンザに注意を！

園内でインフルエンザ(A型)の罹患者が出ました。昨年度もこの時期にインフルエンザ罹患者が出たと聞きました。最近は空気が乾燥してきましたので、注意が必要です。発表会も近くなってきました。食事前の手洗い、うがい、外出時にはマスク着用などしていただくなど感染防止に努めていただくとともに、十分な睡眠と食事にも配慮いただき、体調管理をよろしくお願いします。

ところで、先日、テレビを見ていましたら、マスク(使い捨て用)の効果的な付け方について解説をしていましたので、お伝えします。

① 顔とマスクをできるだけ密着させるため、真ん中から二つに折ってから、真ん中の鼻とあごが当たる部分を上下に引き延ばしてから着用する。

※ 隙間があるとウィルスや花粉等が入ってきて、マスクをする効果が低下する。

② はずす場合は、マスクの表側に触らないようにして、マスクの内側を外向きにして折りたたむ。

※ マスクの表側にはウィルスや花粉などが付着している。  
マスクをする際は、鼻までしっかりと覆うことが大切です。



## ○ 子どもの成長と大人の関わり方 (続き)

本紙前号でこのことについて書きましたが、その続きです。人が成長する過程において、生きるために必要なことを少しずつ学んでいきますが、心理学においては「学ぶタイミング」が重要だと言われています。そのことについて、インターネット上で参考となるものを紹介します。

<出典：小学館 日本大百科全書(ニッポニカ)>

学習が効果的に行われるためには、学習者の側に、身体的にも心理的にも学習にふさわしい素地が用意されていなければならない。このような知能、知識、技能、体力、興味などの学習に必要な準備状態を総称してレディネスとよぶ。レディネスが学習者の側にできていないと、その学習は無効に終わるか、少なくとも非能率的にならざるをえない。

レディネスは成熟と経験によって形成されるが、とりわけ成熟の要因が大きく作用するので、学習におけるレディネスを重視するとき、とかく成熟待ちの学習指導に片寄りやすい。確かにレディネスは学習の前提条件であるが、同時に学習によって形成される場合も少なくない。そのうえ、レディネスさえ成立すれば、その後はどんな年齢でも効率的に学習が行われるわけではなく、子供の発達過程にはそれぞれ学習するにふさわしい時期が存在するわけで、学習のこの最適期を逃すと、学習効率が低下し、ときには徒労に終わってしまうことさえある。そこで、レディネスの概念のなかに、その学習可能性と学習適時性という視点を取り入れる必要性が強調されるようになってきた。

子どもの健やかな成長を促すためには、子どもの発達の状態を見ながら、適切な学習をさせることが大切です。「学習」というと親としてどうすればよいか難しいように感じますが、例えば、乳児期から子どもの目を見ながら「おはよう」とか子どもの名前を呼んであげるなど言葉を聞かせ続けることで、子どもは親の表情や口の動き、音声から少しずつ言葉を覚え、まねして言葉を発するようになります。言葉を話すことができるようになったら、発音が正しくできるか会話の中で気をつけておきましょう。発語には個人差がありますので焦らないことが大切ですが、気になる場合は専門家に相談するとよいでしょう。また食事ができるようになれば「手づかみ → スプーンやフォーク → 箸」というふうに道具を使うように仕向け、その際、正しい持ち方や使い方を教えてあげると、子どもはうまく使えるようになります。ただし、させっぱなしにすると、子どもは自分が持ちやすい、癖のある持ち方を覚えてしまうことがありますので、最初は親が根気強く正しい持ち方を覚えさせることが大切です。ここで手を抜いてしまうと、後々矯正することが難しくなり、多くの時間を費やすことにもなりますので、注意が必要です。

つまり、日頃から子どもの様子をよく見ていて、そろそろ子どもができそうだ、あるいはさせてみようと思われることに目を向けさせ、促してあげる。そのような子どもとの関わり方を大切にすることが子どもの成長には有効だということです。

## ※ 12月の行事予定

3日(月) 発表会リハーサル	15日(土) 平成31年度
5日(水) 発表会リハーサル	第1回新入園者説明会(1号)
8日(土) 発表会	19日(水) もちつき会
11日(火) 誕生会	21日(金) 終業式(1号、2号)
13日(木) 避難訓練	25日(火)～1月7日(月) 冬休み

(宮崎学園高校・中学校と合同)